

もっと安心農産物 こかぶ栽培暦 (秋どり栽培)

JAIちかわ船橋地区もっと安心農産物生産グループ

1. 土作り

完熟堆肥を施用する。(1,500kg) 堆肥の補助資材としてアツミンを使用する。

2. 施肥 土壌診断にもとづく施肥量の遵守 (化成肥料由来の窒素成分量6kg/10a以内)

	肥料名	保証成分 (%)	施肥量上限
基 肥	スーパーマイルド086	10-8-6 (有機態窒素6.1)	140kg/10a
	有機アグレット673 特号	6-7-3 (有機態窒素6)	100kg/10a
	苦土重焼燐	0-35-0 苦土4.5	60kg/10a
	苦土セルカ2号 (有機石灰)		60kg/10a

※有機アグレット673 特号は、スーパーマイルド086で窒素量が不足の場合施用する。

3. 防除 農薬使用成分回数は合計5回までです。(エスマルクDF・スピノエース顆粒水和剤は化学合成農薬に含まれない)

(薬剤名後()内数字は、化学合成農薬の成分数を示す。)

月	管理 作業	病害虫の 発生	薬剤名	希釈倍数 ・処理量	対象病害虫	備考 (耕種的防除の実施等)
8月上旬	↑ 播 種	↑ アブラムシ ヨトウムシ	D-D (1) バスマド 微粒剤 (1) ディ・トラペックス 油剤 (2) のいずれ かを使用する	20 μ l/10a 30kg/10a 30 μ l/10a	ネグサレセンチュウ 根こぶ病 萎黄病	太陽熱消毒をする。 品種：もちばな 恋ばな 夏の雪 ゆきわらし
中旬			フォース粒剤 (1)	4kg/10a 播種時1回	キスジノミハムシ	
下旬			ユニフォーム粒剤 (2)	9kg/10a 播種時全面土壌混和	白さび病	
9月上旬	↓ 収 穫	↓ アブラムシ ヨトウムシ	モスピラン顆粒 水溶剤 (1)	2,000 倍 (収穫21日前1回)	アブラムシ類	防虫ネットでトンネル 被覆する。 白さび病の防除にはラン マンフロアブル 2,000倍(収穫3日前 3回)を散布する。 ハイダラマイカ [®] の防除は、 発生初期にエスマルク DF (0) 1,000倍(前 日迄)を散布する。 収穫後、作物残渣はきれ いに処理して病害虫の 発生源をなくす。
中旬			ハチハチ乳剤 (1)	2,000 倍 (収穫7日前1回)	キスジノミハムシ コナガ	
下旬			ランネット45DF (1)	1,000 倍 (収穫7日前2回以内)	アオムシ アブラムシ	
10月上旬			アフーム乳剤 (1)	2,000 倍 (収穫3日前2回)	コナガ	
中旬			プレバノンカアブル5 (1)	2,000 倍 (収穫前日3回)	コナガ	
下旬			スピノエース顆粒水和剤 (0)	5000 倍 (収穫前日3回)	ハモグリハエ	
11月上旬			アルバリン顆粒水溶剤 (1)	2,000 倍 (収穫3日前2回)	アブラムシ類 キスジノミハムシ	
中旬						
下旬						

☆みんなで守ろう生産基準